



《こども版》 としょかんだより No. 314

2010年

9月号

# わくわく本だな

富山市立図書館

## 今月のおすすめ



★ = 1・2年

★★ = 3・4年

★★★ = 5・6年

—あたらしうはいつた本の中から、おすすめの本をしようかいます—

### 「ひっこしだいさくせん 5ひきのすてきなねずみ」(えほん)

たしろ ちさと／作 ほるぷ出版



おとなりの家にねこがきたので、5ひきのねずみたちは、まちのゴミおきばへひっこしました。そこには、パイプやあきかん、ふるどけいなどたからものがやまのようにありました。さっそく5ひきは、じぶんたちのすてきな家をつくりはじめます。

### 「アクリイにおまかせ」★

竹下 文子／作 小峰書店

ココちゃんのへやは、いつもごちゃごちゃ。おかあさんは、「かたづけないとアクリイをよぶわよ」と、いいました。すると、ほんとうにアクリイがやってきて、あつというまにへやはかたづいたので、なーんにもなくなってしまったのです。



### 「なんでももってる(?) 男の子」★★

イアン・ホワイブラウ／作 徳間書店



フライの家は<sup>おおがね</sup>大金もち。おかしの<sup>しろ</sup>お城や<sup>ゆうえんち</sup>遊園地などなんでももっています。誕生日に、ごくふつうの男の子<sup>しょうたい</sup>ビリーを招待して、いっしょにあそんでいるうちに、フライは自分<sup>じぶん</sup>がまだ持っていないものに気がつきました。それは、いったいなんでしょう？

# あたらしくはいった本

## えほん

「エラのふしぎなぼうし」(えほん)

カルメラ・ダミコ/作 小学館



ひっこしてきたばかりのゾウのエラは、あたらしい学校で友だちができるかしんぱいです。はじめて学校へいく日、おばあちゃんにもらった赤い大きなぼうしをかぶっていきました。おばあちゃんが、しあわせをよぶぼうしとっていたのに、クラスのみんなにからかわれてしまいます。

## ものがたり

「なきむし なっちゃん」 ★ そうま こうへい/作 講談社



なっちゃんは、あまえんぼうでとってもなきむしです。ある日、大すきなおねえちゃんが、らんぼうな男の子につきとばされました。なっちゃんは、真<sup>ま</sup>っ赤<sup>か</sup>な顔<sup>かお</sup>で両手を広げ、むちゅうで「おねえちゃんをいじめるな」とさげんだのです。



## おしえて、世界のおはなし 中国



中国は、人口が世界第1位の約13億<sup>おく</sup>人で、国土は世界第3位のとても大きな国です。漢字<sup>かんじ</sup>は4～5世紀ごろ中国から日本へつたわりました。それ以前は、日本には文字はありませんでしたが、漢字<sup>かんじ</sup>を使って記録<sup>きろく</sup>できるようになりました。中国には次のようなお話があります。

「王さまと九人のきょうだい」(中国の民話) 君島 久子/作 岩波書店

「なしうりとおじいさん」(中国の民話) 柴野 民三/作 フレーベル館

「マーリャンとまほうのふで」 ホン シュンタオ/作 偕成社

「西遊記」 吳承恩/作 福音館書店

「三国志」 羅 貫中/作 講談社



## ものがたい

「幸福3丁目商店街 ハートのエースがでてこない」 ★★

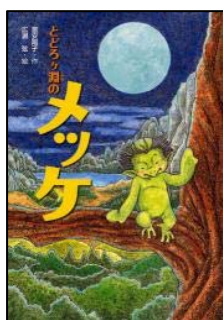
村上 しい子／作 理論社



たこやき探偵団3人組は、近所のおじさんの家からにげたミケネコ“エース”をさがすことになりました。目印は、背中の白いハートマークです。さっそく3人は商店街で聞き込みを開始し、テレビでも呼びかけました。やっと情報をつかんだ3人が、その場所をたずねてみると…。

「とどろヶ淵のメッケ」 ★★★

富安 陽子／作 佼成出版社



とどろヶ淵で一番小さな河童メッケは、遠くのものまで見える特別な目を持っています。仲間たちが、大相撲大会に出かけ留守番をしていると、いのちの滝の水がとまっているのが見えました。メッケは、自分の目で確かめようと奥山に出かけて行きます。

「ぼくとリンダと庭の船」 ★★★

ユルゲン・バンシエルス／作 偕成社

新学期、ぼくのクラスにリンダが転校してきた。クラスの友だちとけんかをする困った女の子だけど、なぜか気になるんだ。ある日、ぼくはリンダから「数学をおしえて」と、たのまれた。「いいよ」と言ったけど、ぼくの胸はドキドキ、こんな気持ちはじめてだ。



## ちしきの本

「パンの大研究」

PHP研究所



6000年前から私たちの祖先が食べていたというパン。大昔のパンは何から作られ、どんなあじだったのでしょうか？ パンの歴史や種類などを、たくさんの絵を使って紹介しています。

また、パン工場からお店にとどくまでの流れや、町のパン屋さんのようすなどもわかります。



名作をよもう!

今月の1さつ



「百まいのドレス」 ★★★

エレナー・エステイス／作 岩波書店

「あたし、うちに、ドレス<sup>ひやくまい</sup>百枚、持ってるの。」いつも同じ服を着ている少女ワンダが言った一言から、ワンダをからかう遊びが始まります。「学校にその服を着て来て」と、人気者のペギーたちがいじわるを言います。ペギーの親友<sup>しんゆう</sup>マデラインは、よくないことだと感じながら何もできずにいました。そんなある日、突然、ワンダは<sup>とつぜん</sup>転校<sup>てんこう</sup>してしまいます。

今から50年あまり前に書かれたアメリカの名作<sup>めいさく</sup>です。

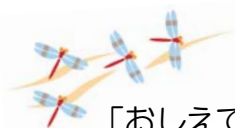


## とやまし あ・れ・こ・れ

富岩水上ライン

環境<sup>かんきょう</sup>にやさしいソーラー船「sora」と電気ボート「もみじ」が、富岩運河環水公園<sup>うんがかんすいこうえん</sup>から国指定重要文化財<sup>くにしていじゅうよう</sup>中島閘門<sup>なかじまこうもん</sup>を通り港町岩瀬<sup>みなとまち</sup>までを案内してくれます。川辺の景色も楽しめるように、船は運河をゆっくり走ります。

今年は11月28日(日)まで<sup>うんこう</sup>運航していますよ。



「おしえて、世界のおはなし」コーナーは、今月でおわりです。来月号からは「ことばであそぼう!」が始まります。おたのしみに!



< 編集・発行 >

富山市立図書館

富山市丸の内1丁目4-50

電話 076-432-7272